

BA0068加工要領

交換用クレセント3K0783はクレセント本体の取り付け穴位置が偏芯している為、そのままでは取り付けることができません。

3K-N K-LタイプクレセントBA0068を代用品3K0783 (3K-EII KL用クレセント)に交換する場合、現場についている裏板を加工して取付ける必要があります。

また、框のクレセント取り付け穴についても現地加工が必要となります。

3K-Nは年代により新旧2種類あり、クレセント取り付け穴加工形状が異なります。

旧加工 $\varnothing 4.5 \times 12$ 長孔

新加工 $\varnothing 8$ 丸孔

BA0068→ 3K0783交換要領

3K-Nクレセント加工には新旧2種類あります。既存サッシのクレセントをはずし、加工形状を確認してください。

(旧タイプの場合はクレセントをはずすと、内部のウライタが下に落ちますが問題ありません)

旧加工 クレセント取付け用加工穴形状は、($\varnothing 4.5 \times 12.5$ の長孔です。(別紙①)

新加工 クレセント取付け用加工穴形状は、 $\varnothing 8$ の丸孔です。(別紙③)

新旧それぞれの交換作業要領

旧加工の場合

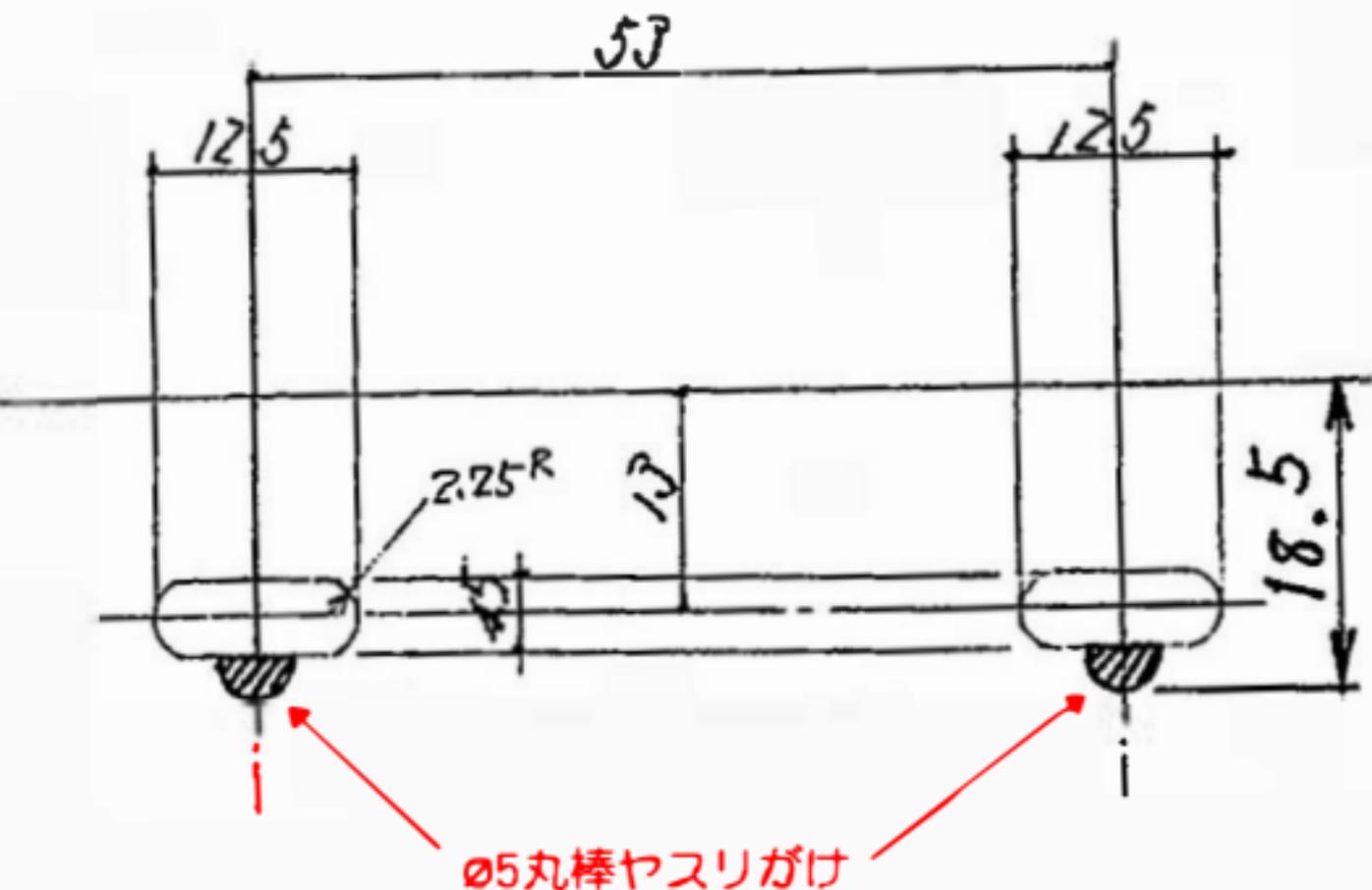
- ① 内障子を枠から降ろします。
- ② 召合せ框内の裏板を取り出します。
- ③ $\varnothing 5$ 程度の丸棒型金ヤスリで別紙①のように半円型に削ります。
- ④ 裏板を内外逆向きに(またはサンダーで3mmカットし)挿入し、クレセントを取付けます。

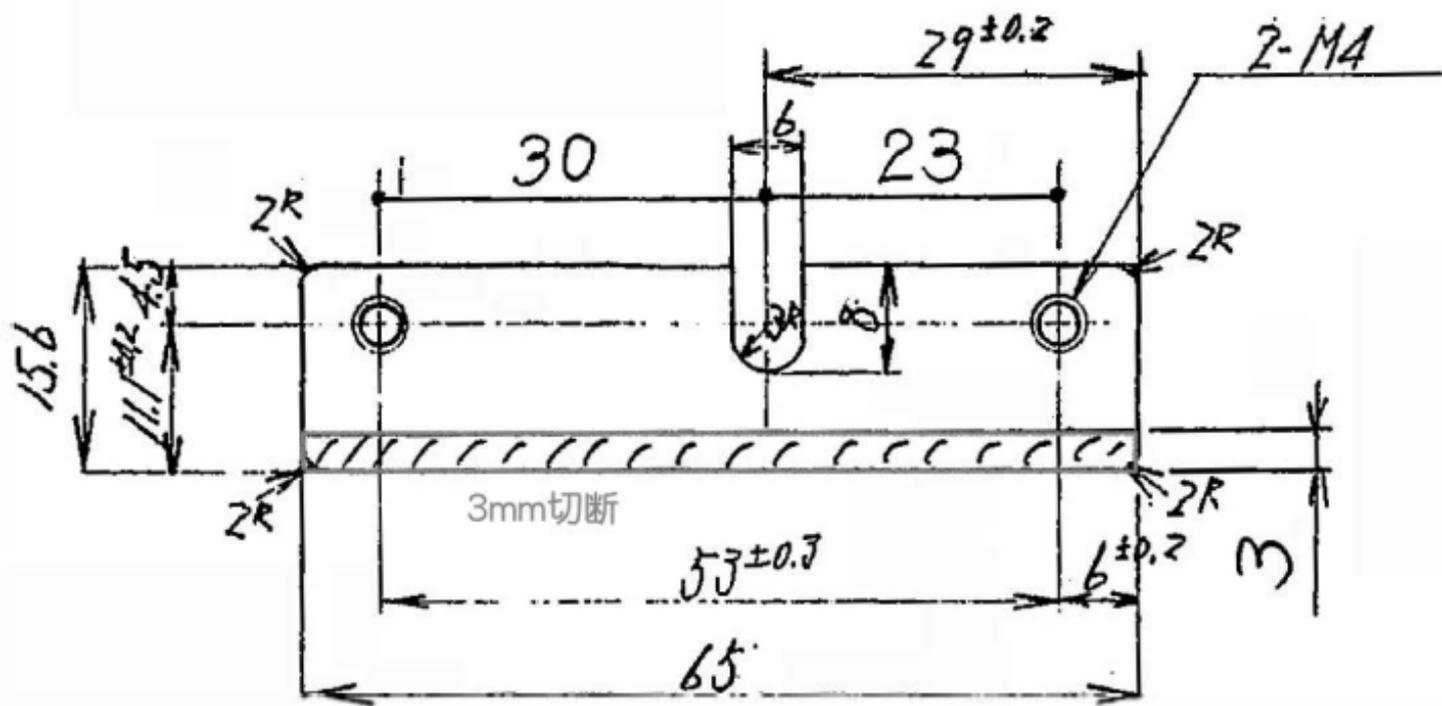
新加工の場合

- ①内障子を枠から降ろし、障子を分解します。
- ②召合せ框内から裏板を取出します。
- ③ $\varnothing 5$ 程度の丸棒型金ヤスリで別紙③のように半円型に削ります。3
- ④裏板をサンダーで3mmカットし挿入し、クレセントを取付け障子を組立てます。

クレセント取付切欠詳細図

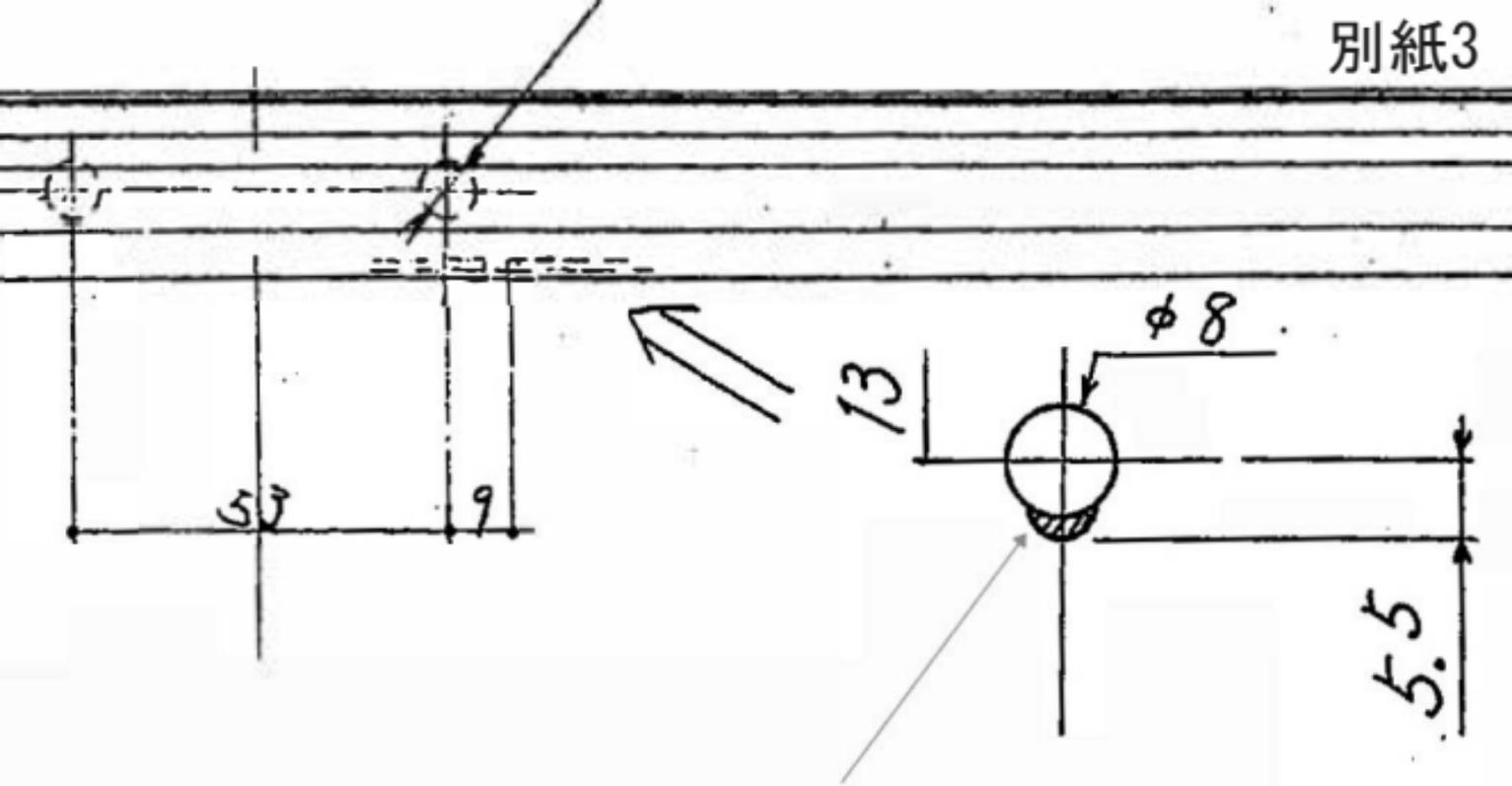
別紙1





裏板加工図

旧タイプ裏板形状



φ5丸棒ヤスリがけ

